

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05739	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	幾何学的群論の深化と展開	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	藤原 耕二 (京都大学・大学院理学研究 科・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、世界的に進展が目覚ましい幾何学的群論を幾何学、関数解析学に跨る視点により深化、応用を目指す研究である。</p> <p>研究計画調書で具体的に提示された問題に対して幾つかの重要な結果が得られてきており、研究は順調かつ着実に進んでいる。計算機を援用した研究もユニークで、研究分担者による階数5の自由群の外部自己同型群に関する結果は特筆すべきである。研究代表者が国際会議の招待講演者に選ばれるなど研究成果は世界的に高く評価されており、複数の国際研究集会を運営する等の実績もあることから、学術的成果は十分評価できる。</p>		